

「(仮称) 杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の策定に向けた取組について

区の基本構想で定める子ども分野の将来像「すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち」を実現していくため、区における今後の子どもの居場所づくりの指針となる「(仮称) 杉並区子どもの居場所づくり基本方針」(以下「基本方針」という。)を令和6年度中に策定することとし、以下のとおり取り組むこととしましたのでご報告します。

1 策定に当たっての基本的な考え方

- 杉並区子どもの権利擁護に関する審議会での議論の状況や、国が令和5年(2023年)中に策定することとしている指針の内容等も踏まえながら、様々な困難を抱える子どもを含むすべての子どもを対象とした、より良い子どもの居場所のあり方について検討を行う。
- 児童館再編の検証により明らかとなった課題等については、この検討に引き継ぐ。
- 検討のプロセスにおいては、当事者である子どもや保護者、既に児童館の再編整備が行われた地域の方々の意見等を丁寧に聴取するとともに、学識経験者の助言を得るなど、幅広い参画を得ながら検討を行っていく。

2 検討の体制

子どもが利用する施設・事業等を所管する関係部課長等をもって構成する「杉並区子どもの居場所づくり基本方針策定検討会」を設置し、基本方針の策定に係る検討を行う。

3 検討の手法

当事者である子どもを中心に、保護者や地域の方々の意見を聴取するほか、子どもの参画を得ながら子どもと共に策定する基本方針とするため、以下の手法により取り組む。(詳細は、裏面の参考資料を参照)

- (1) 子どもを対象としたヒアリング調査
- (2) 既に児童館の再編整備を行った地域の方々からの意見聴取
- (3) 子ども・保護者への無作為抽出アンケート
- (4) 居場所実施者(現場)へのアンケート
- (5) 子どもワークショップ(同一参加者で複数回実施) など

4 今後のスケジュール(予定)

基本方針に基づく子どもの居場所づくりの取組に関し、可能な限り令和7年度予算への反映を図ることとし、次のとおり検討を進める。

令和5年	11月6日	第1回検討会開催
	11月24日	区議会第4回定例会(保健福祉委員会)へ基本方針策定に向けた進め方等(進捗含む)を報告
令和6年	11月	区議会第4回定例会(保健福祉委員会)へ基本方針(案)を報告
	12月	区民等の意見提出手続(パブリックコメント)の実施
令和7年	1月	基本方針の決定

基本方針の策定に向けた検討プロセスと意見聴取の取組

意見聴取① 【令和5年12月～令和6年2月】

基本方針（素案）の検討につなげるため、子どもの居場所のニーズや現状の把握

【意見聴取の方法】

子どもヒアリング	○目的や対象、年齢等の異なる既存の子どもの居場所を10か所程度、小・中学校3クラス程度を訪問し、居場所に対するニーズや意見を対面で聴取
子ども・保護者へのアンケート	○広く子どもの声を聴くため、各年齢500人（計9,000人）を対象とした無作為抽出アンケートを実施
居場所実施者（現場）へのアンケート	○既存の居場所をどのように子どもが利用しているか、現場で大切にしていること、課題や感じていること等、現場の声を聴取
再編整備を行った地域での意見交換会	○直近に児童館再編の取組が実施された地域を対象に、子どもにとってどのような居場所が必要であるか等、地域の声を聴取

【学識経験者の助言】 子どもへの質問の仕方や内容等についての助言を得る

基本方針（素案）を作成 【令和6年4月】

【学識経験者の助言】 素案の内容等についての助言を得る

意見聴取② 子どもの参画による基本方針（案）の検討 【令和6年4月～7月】

基本方針（素案）をベースに基本方針（案）の検討を進める。

【意見聴取の方法】

子どもワークショップ	○素案をベースに、子ども同士の話し合いを通じて、子どもと共に検討 ○小学4年生から高校生世代の子ども30人程度を公募 ○事前学習の回を含め6回程度の連続開催を予定 ○議論の中で出された子どもの意見等に対し、実現が可能なもの、実現が難しいもの等、その理由も含め、区からのフィードバックを丁寧に繰り返す。 【学識経験者の助言】 ワークショップの持ち方等の助言を得る
------------	--

子どもワークショップのイメージ

居場所実施者（現場）からの意見聴取	○基本方針（素案）に対する現場の意見を聴取
-------------------	-----------------------

基本方針（案）の作成 【令和6年7月】

【学識経験者の助言】 基本方針（案）の内容等についての助言を得る

意見聴取③ 【令和6年8月】

子どもと共に作成した基本方針（案）に対する意見を聴取

【意見聴取の方法】

シンポジウム	○学識経験者や子どもワークショップに参加した子ども、居場所実施者（現場職員）等を招き、シンポジウム形式による区民意見交換会を実施
--------	--

基本方針（案）のまとめ 【令和6年9月～10月】